

採択理由

プログラム名：健康研究成果の実用化加速のための研究・開発システム関連の隘路解消を支援するプログラム
課題名：免疫難病治療のための次世代型抗体医薬開発
提案機関名：大阪大学
研究代表者名：岸本 忠三

コメント

本提案は、提案者らにより開発が行われ、治療薬として実用化された抗IL-6抗体の開発経験に基づき、安全性、薬効、体内動態特性、物理化学的特性について改良を加えた次世代型の抗体医薬と、免疫難病治療に資する新規先端医薬品を開発する取組である。周到で綿密な計画性を有しており、早期の実用化が期待できることから、高く評価できる。また、企業とも連携して、多岐にわたる要素技術をカバーする研究実施体制が構築され、安全性・有効性の効率的な検討による加速が期待される開発計画が立てられており、他の医薬品等の開発に向けた取組にも、広く波及効果をもたらすことが期待できる。

なお、実用化を目指す開発研究の加速に向けた企業との連携体制の構築に当たり、企業が協力機関として分担する研究内容と、代表機関及び参画機関が本プログラムの支援を得て実施する研究内容との切り分け・分担を明確にして、本課題を実施することが求められる。